

JIS

酢酸

JIS K 1351 : 2007

平成 19 年 6 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 一般化学技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	川 瀬 晃	エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社
(委員)	江 村 智 之	日本プラスチック工業連盟
	齋 藤 壽	社団法人日本分析機器工業会 (株式会社島津製作所)
	嶋 田 圭 吾	社団法人日本試薬協会 (米山薬品工業株式会社)
	角 田 欣 一	群馬大学
	中 村 進	独立行政法人産業技術総合研究所
	中 村 洋	東京理科大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	林 田 昭 司	社団法人日本化学工業協会 (旭硝子株式会社)
	松 本 保 輔	財団法人化学物質評価研究機構
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.6.20

官 報 公 示：平成 19.6.20

原案作成協力者：社団法人日本化学工業協会

(〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル TEL 03-3297-2550)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：一般化学技術専門委員会 (委員長 川瀬 晃)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 品質	1
3. 試験方法	1
3.1 一般事項	1
3.2 数値の丸め方	1
3.3 試料採取方法	1
3.4 外観	4
3.5 色	4
3.6 密度	5
3.7 純分	6
3.8 水分	9
3.9 蒸発残分	10
3.10 過マンガン酸カリウム試験	10
3.11 ぎ酸	11
3.12 ホルムアルデヒド	13
3.13 重金属	14
3.14 硫酸塩	15
3.15 塩化物	15
3.16 鉄	16
4. 検査	18
5. 表示	18
解 説	21

白 紙

酢酸

Acetic acid



1. 適用範囲 この規格は、工業用の酢酸について規定する。

備考 1. この規格でいう酢酸は、氷酢酸ともいう。

2. この規格の引用規格を、付表 1 に示す。

2. 品質 品質は 3. によって試験し、表 1 のとおりとする。

表 1 品質

項目	品質
外観	透明な液体で、浮遊物、ごみなどの異物のないこと。
色 (ハーゼン色数)	10 以下
密度 (20 °C)	g/cm ³ 1.049~1.056
純分	%質量分率 99.5 以上
水分	%質量分率 0.5 以下
蒸発残分	%質量分率 0.005 以下
過マンガン酸カリウム試験	標準の紅色を 30 分間以上保持すること。
ぎ酸	%質量分率 0.10 以下
ホルムアルデヒド	%質量分率 0.003 以下
重金属	%質量分率 0.001 以下
硫酸塩	%質量分率 0.001 以下
塩化物	%質量分率 0.000 2 以下
鉄	%質量分率 0.000 2 以下

3. 試験方法

3.1 一般事項 試験について共通する一般事項は、JIS K 0050 による。

3.2 数値の丸め方 JIS Z 8401 による。

3.3 試料採取方法 品質が均一とみなすことができる 1 ロットから製品の容器の種類によって、次に規定する方法で代表試料を採取する。

なお、ロットの設定、試験採取の時期及び場所については、当事者間の協定によって決めてもよい。

3.3.1 大形容器 (タンク, タンク車, タンクローリー, タンカーなど) の場合

(1) 要旨 大形液体試料採取器を用いて容器内容物を所定の位置から採取し、所定の割合で適切な試料容